

## 平成22年度版小金井市環境報告書に対する環境審議会の評価結果

環境報告書の発行が遅くはないだろうか。発行が翌年の3月になっている現状では、環境審議会が見直し事項を指摘しても、その年度の活動には間に合わない。環境審議会での指摘を明文化し、それがどのように環境保全活動に反映したのかを明確にしてほしい。現状では、PDCAサイクルは循環しているとは言えず、環境マネジメントシステムが機能しているとは言い難い。環境報告書は発行することが目的ではなく、あくまでPDCAサイクルを循環させるための手段であるとの認識に立つべきであろう。

「報告書」であるにもかかわらず、取組の中身や進捗状況などについて具体的な記述が少ない。冒頭で、本報告書はPDCAサイクルの「C」に当たると表記されているが、「C」の点検評価の観点では不十分である。中身や実績をもう少し具体的に書くと同時に、前年度との対比や、継続の場合には時系列的な状況について記すと、読む側に伝わりやすいと同時に、各課の進捗状況の報告を活かすことができると考える。

環境マネジメントシステムにおける内部環境監査においては、不適合、不備を指摘することはもちろん必要だが、それだけにとどまらず、各課の先進的な取り組み、模範となるような活動についても評価すべき事項として取り上げることで、継続的な改善に結びつけてほしい。

地球温暖化対策地域推進計画を具体化する体制が明確になっていないので、対応策を検討する必要がある。

「住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金制度」の制度の内容について記載があるとよい。他市の補助制度との比較があるとよい。